

第11号  
2004.10.20

# れんめい

発行 日本歯科技工士連盟  
東京都新宿区市谷左内町21-5  
発行人 野島正美  
編集 日本歯科技工士連盟  
発行日 平成16年10月20日(水)



## 次期参議院議員通常選挙に候補者擁立!! 動議を受け、協議事項から議案へ

### 平成十六年度第一回評議員会

## 日本歯科技工士連盟

日本歯科技工士連盟(会長 中西茂昭)は九月十九日、平成十六年度第一回評議員会を開催した。第一号議案・平成十五年活動一般報告、第二号議案・平成十五年会計収支決算の承認を求め、評議員の満場一致にて可決承認された。議事進行の關係上報告事項が先に行われた後の協議事項では、評議員より動議が提出され、それを受けた執行部が協議事項を議案に移項し、熱い議論が交わされた。

日本歯科技工士連盟は去る九月十九日(日)午前十一時より東京・市ヶ谷にある日本歯科技工士会館において平成十六年度第一回評議員会を開催した。

評議員会は先ず、前回まで議長であった高橋義夫氏が評議員でなくなった為、規約に則り議長団の選出から行われた。結果、副議長であった藤原俊彰氏(大阪)が議長に、高橋前議長の所屬している北海道技連盟から高橋正人氏が副議長に選出され、本年度の議長団として承認された。

次いで高橋副議長より評議員の氏名点呼が行われ、六十名中五十九名の出席が確認され(一名は後刻到着確認)、議長に報告された。

議長は日技連盟規約に則り、評議員会が成立することを議場に告げ、開会を宣言。引き続き議事録署名人の選出を行い、廣一馬評議員(福井)、宮永齊評議員(宮崎)が選任された後、会長挨拶が行われた(会長挨拶別掲)。

その後、議長から議案の審議に入る旨宣せられ、第一号議案・平成十五年活動

動一般報告、第二号議案・会計収支決算の承認を求めの件が一括上程された。

第一号議案は、平尾副会長から平成十五年度に本連盟が取り組んできた諸活動が報告書に基づき詳細に報告された。

第二号議案は、国府田副理事長より政治資金規正法に則った連盟会計収支決算報告と時局対策積立金会計収支決算および組織内国会議員擁立支援金会計収支決算が各々の決算書に基づき報告された。

続いて宮永齊財務委員会委員長(宮崎)から報告書に基づき財務委員会報告が行われた上で、執行部側今回の選挙費用に関する収支報告と各原との総括すり合わせ実施要請、評議員側

に本評議員会では、三年後の参議院議員選挙に候補者擁立をするのかどうかという一点に絞って協議して欲しい旨の要請が行われた。

また、田桑監事より監査報告ならびに今回の選挙に関する監事所見があり質疑応答に入った。執行部と評議員による質疑応答が行われた後、第一号議案・第二号議案とも満場一致で可決承認された(質疑応答要旨別掲)。

議長はここで、円滑な議事運営のため協議事項を報告事項の後で行う旨議場に告げ、評議員の承認を得、

## 中西会長挨拶

平成十六年度第一回評議員会開催にあたり、一言御挨拶申し上げます。先ず、先の選挙につきましては改めまして会員の皆様から御礼とお詫びを申し上げたいと思

います。選挙が終わりまして、自由民主党へ御挨拶に伺いました。党としては八万余票取っていただいたことに感謝申し上げます。次については皆さんがよく検討し、その意気をお示しになるなら協力は惜しまない。しかしながら、三顧の礼をお願いできる数字ではないというお話をいただいたいます。

本日の協議にも、次期をどうするかということ、皆さん方に御議論いただく時間を設けておりますので、しかるべき方向性を御検討いただきたく存じます。

同時に、未だ統一試験がなされておられません。国家試験でありながら、都道府県格差が出る。委託事務が二十年以上続くことが正常な状態かというところを、とりわけ全国歯科技工士教育協議会と連携を入れ行っております。

最後に、歯技工所の環境について省令改正が行われることになり、単に構造設備の基準値化にとどまらず、工程管理、市販後管理の部分をしつかり押さえておきたいと思っております。

いづれにせよ、連盟の果たす役割は重要でございます。執行部一同そのことを肝に銘じ、懸案解決に一丸となつて望んでまいります。御理解をいただきたく存じます。

三号議案の提案主旨文作成のため暫時休憩を議長に申し入れ、議長差配により承認された。

暫時休憩後、執行部より第三号議案「第二十一回参議院議員通常選挙比例代表選出議員擁立について」が提案され(別掲)、第二十一回参議院議員通常選挙比

例代表選出議員選挙へ、引き続き組織代表を擁立する。ご審議賜りたい旨の趣旨説明が行われた。

その後、議長から質疑応答を受け付ける旨が議場に宣せられ、活発な質疑応答が繰り広げられた後採決に入り、有効投票総数五十八票のうち賛成三十九票で次

期参議院選への組織代表擁立が決定した。

執行部側はこの採決を受け、臨時総務会を開催し、第

一

# 質疑応答 要旨

**問** 会長が執筆された本を、読ませてもらった。業界の本質に迫るものであろうが、残念ながらインサイドに在るものの指摘である。行政・議員などに話をす

**答** 関係団体が総合研究所に報告書を作成していただいたことは皆さん御周知のことであるが、あの報告書をとりとめるのに相当の費用がかかったと仄聞している。今後とも予算との関係で慎重に対応していきたいと考えている。

**問** 原価計算も、自分達に都合のいいように計算して

いるのではないかと捉えられがちであり、客観性を持たせたものがあれば非常に活動もしやすくなるのだが、どのように考えているか。

**答** 御指摘のとおりである。例えば今、原価計算要領などは、慶應義塾大学助教授のご指導をいただいで作成している。労働契約書や労働条件通知書なども専門家のアドバイスを受けてい



**問** 第四回参議院議員通常選挙実務担当者会議を、日

**答** 昨日からそのような御要望もあるわけなので、総務会等で検討していきたいと思う。

**問** 連盟会員を増やすシス

テムの早期構築と、会員の住所登録を「居住している県技」にするよう徹底していただきたい。

**答** 組織機構改革検討委員会等を通じてながら、そのようなかを踏まえ、慎重に検討してまいります。

**問** 「中西しげあき躍進の会」の後援会入会者名簿は、外部に漏らすことのないよう厳重に管理し、中西しげあき氏以外の政治活動および選挙活動には利用しないようにしていただきたいが

**答** 全く御指摘のとおりであり、後援会名簿の管理には十分の注意を払ってまいります。

**問** 選挙結果を受けての、会長本人の名前による文書が会員に届いていない。早急に会長の現状の心境と今後の対応についての文書を会員宛に出していただきたい。

**答** 公職選挙法上一定の規制があり、今のご要望にお応えするのはなかなか困難である。昨日の会長挨拶文とか、本日の挨拶内容などで対応していきたい。

**問** 会長が執筆された本を、読ませてもらった。業界の本質に迫るものであろうが、残念ながらインサイドに在るものの指摘である。行政・議員などに話をする際、例えば外部の総合研究所などに問題点を挙げていただき、それを資料として折衝していきたいと考え

**答** 関係団体が総合研究所に報告書を作成していただいたことは皆さん御周知のことであるが、あの報告書をとりとめるのに相当の費用がかかったと仄聞している。今後とも予算との関係で慎重に対応していきたいと考えている。

**問** 原価計算も、自分達に都合のいいように計算して

いるのではないかと捉えられがちであり、客観性を持たせたものがあれば非常に活動もしやすくなるのだが、どのように考えているか。

**答** 御指摘のとおりである。例えば今、原価計算要領などは、慶應義塾大学助教授のご指導をいただいで作成している。労働契約書や労働条件通知書なども専門家のアドバイスを受けてい

る。今後とも予算との関係で慎重に対応していきたいと考えている。

## 平成15年度会計収支決算の承認を求むる件

### 平成15年度 一般会計収支決算書

(自:平成15年4月1日 至:平成16年3月31日)

収入の部					
政治資金報告書による収入科目	科目	平成15年度予算額	平成15年度決算額	差	備考
77	個人の負担する会費又は会費	65,280,000	63,042,800	2,237,200	過年度会費 8,125,600 当年度会費 54,917,200 (@400×137,293ヶ月)
41	寄附				
(1)	個人からの寄附				
(2)	法人その他の団体からの寄附				
(3)	政治団体からの寄附				
42	機関紙誌の発行その他の事業による収入				
43	借入金				
44	その他の収入	50,000	2,994,311	△ 2,944,311	預金利息等
45	前年度繰越金	30,000,000	34,075,534	△ 4,075,534	
合 計		95,330,000	100,112,645	△ 4,782,645	

支出の部					
政治資金報告書による支出科目	科目	平成15年度予算額	平成15年度決算額	差	備考
1	経常経費				
(1)	人件費	100,000	0	100,000	
(2)	光熱水費	50,000	0	50,000	
(3)	備品・消耗品費	200,000	134,824	65,176	文具費等
(4)	事務所費	8,600,000	8,089,756	510,244	役員通信費、郵送料他
(5)	管理費	1,200,000	960,000	240,000	賃借料
① 小 計		10,150,000	9,184,580	965,420	

支出の部					
政治資金報告書による支出科目	科目	平成15年度予算額	平成15年度決算額	差	備考
2	政治活動費				
(1)	組織活動費				
	交通費	1,200,000	753,580	446,420	都内出張費、交通費
	役員出張費	3,700,000	2,469,920	1,230,080	地方出張費
	印刷費	1,500,000	476,575	1,023,425	文書封筒等印刷費
	会議費	11,000,000	11,633,797	△ 633,797	評議員会、総務会等
	交際費	2,600,000	1,093,092	1,506,908	中元、歳暮他
	渉外費	5,600,000	896,321	4,703,679	対外渉外費
① 小 計		25,600,000	17,323,285	8,276,715	
(2)	選挙関係費				
	交通費	100,000	150,000	△ 50,000	
	役員出張費	300,000	664,920	△ 364,920	
	印刷費	200,000	399,420	△ 199,420	第43回参議院議員選挙その他
	会議費	100,000	244,220	△ 144,220	
	通信費	100,000	152,760	△ 52,760	
	陣中見舞	200,000	2,120,000	△ 1,920,000	
② 小 計		1,000,000	3,731,320	△ 2,731,320	
(3)	機関紙誌の発行その他の事業費				
	広報費	4,000,000	1,852,732	2,147,268	機関紙「れんめい」他
(4)	調査研究費	600,000	376,959	223,041	資料・書籍購入費他
(5)	寄附・交付金	18,000,000	22,010,000	△ 4,010,000	会費等
	交付金	3,000,000	6,180,322	△ 3,180,322	地元活動費等
(6)	その他の経費	10,000,000	10,000,000	0	当年度積立
	雑費	200,000	186,290	13,710	
	予備費	22,780,000	0	22,780,000	
④ 小 計		58,580,000	40,606,303	17,973,697	
⑤ 小 計		29,267,157	△ 29,267,157		
合 計		95,330,000	100,112,645	△ 4,782,645	

## 第二十一回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補者擁立に関する意見

●組織代表を擁立することは賛成だが、県内の総括が終わっていない。今日の資料を持ち帰り、県内で総括したい。この議案を明年三月に提出していただきたいと思う。

●今日は協議事項という形で次期参議院選挙対応に臨んでいる。擁立に反対ではないし、選挙をやるといふことであれば精一杯協力させていただくが、県に持ち帰ってコンセンサスをとってから表決に加わりたい。

●来年の三月では遅いというのであれば、いったん持ち帰って県内で協議してもらい、臨時評議員会を開催して表決するか、そのような手法は取れないのか。

●選挙は先延ばしにしてはだめ。業界紙も注目している状況にある。戦いに勝つには早く態度を決め、早く臨戦態勢に入ること。もつと前向きに議論をしながら、我々の懸案は解決

しない。

●皆さん気持ちは一緒だと思いが、組織だから手順を踏んでいかなければならぬというところだと思う。リベンジしたいという気持ちは強いし、その気持ちは強ければ強いほど早く方向だけは決めていただきたいといふのが率直な気持ち。

●選挙が終わって二ヶ月余りなのに、ずいぶん前のような気がする。あせらなくともいいんじゃないかという意見もあるだろうが、半年後の三月になると昨年戦ったことを忘れてしまいそうである。手法は変わっても、連盟の方針は過去半世紀変わってきていない。続けて擁立することが大切な

平成16年度第1回 日技連盟評議員会  
第3号議案  
「第21回参議院通常選挙比例代表選出議員擁立について」

第21回参議院通常選挙比例代表選出議員選挙へ、引き続き、組織代表を擁立する。  
ご審議賜りたい。

皆さん十分御承知の上で今回の評議員会に御出席いただいたら、選挙そのものが環境改善に早道であるというなら、選挙に頼るしかないと考え、ここで引き下がるようでは、組織の体面に関わる。

●選挙に反対はしないが、先の大変申し訳ないことをし、後援会活動を立ち上げ、後援会活動、選挙活動をやってきた会員に、この次はどうするかと聞かれたとき、誰が候補者として挙がるのかはわからないが、組織としてはこの次も組織代

●評議員より提出された協議事項に対する動議(原文まま)

平成16年度第1回評議員会協議事項1、「第21回参議院通常選挙比例代表選出議員候補者擁立について」を議案にするための動議

【理由】  
歯科技工士国会議員擁立については、昭和34年に本連盟が結成されて以来、数度に亘り「組織内候補者擁立準備委員会」が設置され、歯科技工士の懸案を解決する為に組織内から代表を国会に送る議論がなされた。  
また、昨年の3月16日に開催された、平成14年度第2回連盟評議員会に於いても、その擁立目的について十分議論されたことは周知のとおりである。  
しかし、いまだその目的は達成されず、国民に良質な歯科医療を提供するための環境は、悪化に拍車がかかっているといっても過言ではない。  
我々は、今回、医療技術者として国民に医療制度の問題点を提起し、その解決策を訴え、8万2千余票の支持を得た。今後、社会に認知される連盟組織としてこの責任を真摯に受け止めるべきである。  
よって、今回の結果に勝つことなく、改めて歯科技工士による国政挑戦の闘いに「組織として臨むこと」を宣すべきと考える。  
ここに「平成16年度第1回日技連盟評議員会 協議事項1を変更し議案とする動議」を提出し、第21回参議院通常選挙比例代表選出議員擁立について評議員諸君の意見を乞う。

平成16年9月19日  
動議提出者

宮崎歯科技工士連盟	宮永 齊
茨城歯科技工士連盟	高橋 俊秋
沖縄歯科技工士連盟	島袋 正行
神奈川歯科技工士連盟	前田 健治
富山歯科技工士連盟	平野 章
愛知歯科技工士連盟	丸山 功
大阪歯科技工士連盟	速見 憲
北海道歯科技工士連盟	杉岡 範明
東京歯科技工士連盟	田中 澄良



●地元へ持ち帰り協議したいという意見があったが、前回、歯科技工界の現状を打破する近道として会長に御出馬いただいたことは皆



●反対の意見や決めかねている節もあるようだが、いったん自分たちで決めてやったことは、成し通すことが必要だと思ふ。大切な予算を使ってきたことであり、ふいにするわけにもいかない。最終的にはここにいる評議員の皆さんが県に持ち帰って説得せざるを得ないだろう。なにがなんでもこの場で方向性を出していただきたい。